学校番号	３２８

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新選　世界史Ｂ（東京書籍）						
副教材等	明解世界史図説 エスカリエ 十四訂版（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では、２年次に学習した近代以前の諸地域世界の特質と交流の歴史を基礎として、近現代の世界の形成過程について学習します。学習にあたっては諸資料に基づいて考察することと、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら考察することが重要で、世界の歴史についての基本的な知識は確実に身につけてください。

２　学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件と関連付けながら理解する。
２年次・２単位履修を基礎に近現代史を学習するが、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって歴史的思考力を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高め、歴史上の諸課題について問題意識を持って意欲的に追求している。国際社会の一員として現代の諸課題に主体的に関わろうとする態度を身につけている。	近現代史を中心とする世界の歴史から課題を見いだし世界史的視野に立って多面的・多角的に考察している。諸課題について歴史的観点から考察したり判断したりした過程や結論を適切に表現している。	資料や情報を効果的に活用することを通して歴史事象について追求する学び方を身につけている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基礎的な知識を身につけている。
評価方法	授業態度 発問評価 課題の提出	授業態度 発問評価 課題の提出 定期考査	授業態度 発問評価 課題の提出 定期考査	授業態度 発問評価 課題の提出 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1学期</td><td>ヨーロッパの拡大と大西洋世界</td><td>ヨーロッパ世界の拡大とそれに伴う社会の変革、ルネサンスのもたらした芸術・思想・科学の変革、宗教改革の理念と拡大を理解する。</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">a: 歴史上の諸課題について問題意識をもって意欲的に追求している。
b: 歴史的観点から考察したり判断したりした過程や結論を適切に表現している。
c: 資料や情報を効果的に活用することを通して歴史事象について追求する学び方を身につけている。
d: 世界の歴史についての基礎的な知識を身につけている。</td><td rowspan="2">授業態度
発問評価
課題の提出
定期考査</td></tr>
<tr><td>産業社会と国民国家の形成(その1)</td><td>イギリス産業革命の背景と展開、産業資本主義体制の確立と、アメリカ独立とフランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2学期</td><td>産業社会と国民国家の形成(その2)</td><td>ウィーン体制下のヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズム運動の展開、および、イタリア・ドイツ国民国家形成の過程、さらに、植民地争奪からもたらされる国際的枠組みの形成を理解する。</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">a: 歴史上の諸課題について問題意識をもって意欲的に追求している。
b: 歴史的観点から考察したり判断したりした過程や結論を適切に表現している。
c: 資料や情報を効果的に活用することを通して歴史事象について追求する学び方を身につけている。
d: 世界の歴史についての基礎的な知識を身につけている。</td><td rowspan="2">授業態度
発問評価
課題の提出
定期考査</td></tr>
<tr><td>世界市場の形成とアジア諸国</td><td>インドの植民地化と社会の変貌、ヨーロッパ諸国の干渉による清朝の動揺と近代化改革、東アジア国際秩序の再編を理解する。</td></tr>
</table>

2学期	世界の分割	帝国主義、欧米列強による世界各地の分割・植民地化をめぐる競合と従属させられた地域社会の抵抗と変容を理解する。	○	○	○	○	a: 歴史上の諸課題について問題意識をもって意欲的に追求している。 b: 歴史的観点から考察したり判断したりした過程や結論を適切に表現している。 c: 資料や情報を効果的に活用することを通して歴史事象について追求する学び方を身につけている。 d: 世界の歴史についての基礎的な知識を身につけている。	授業態度 発問評価 課題の提出 定期考査
	二つの世界大戦	第一次世界大戦とロシア革命がもたらした変化が 20 世紀の変動の基点となったこと、世界恐慌以降の欧米諸国の動向、第二次世界大戦にいたる過程を理解する。						
3学期	戦後世界の形成と変容	米ソを中心に冷戦体制が成立し東西両陣営に世界が分裂したこと、日本・西欧の経済復興や「雪どけ」により国際政治・経済が多極化に向かったことを理解する。	○	○	○	○	a: 歴史上の諸課題について問題意識をもって意欲的に追求している。 b: 歴史的観点から考察したり判断したりした過程や結論を適切に表現している。 c: 資料や情報を効果的に活用することを通して歴史事象について追求する学び方を身につけている。 d: 世界の歴史についての基礎的な知識を身につけている。	授業態度 発問評価 課題の提出 定期考査
		米ソの動揺と影響力の減退、東欧社会主義圏の消滅・ソ連の解体、グローバル経済の進展を理解する。						

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。